



いわて

議会だより

令和7年12月号
No. 109
2026.2.28

発行：福島県飯舘村議会
編集：議会は報編集特別委員会

令和8年1月1日 二十歳の成人式

議案審議「ザ・議論」
一般質問「村政ここが聞きたい!!」
審議結果
議会の動き・常任委員会活動・編集後記

2～3

4～10

11

12

ザ・議論

10月(第7回)臨時会では、契約案件1件、人事案件1件、その他案件4件、12月(第8回)定例会では、予算案件6件、条例案件4件、契約案件5件、その他案件2件について次のような議論が交わされました。その議論の一部を紹介します。

議案審議

第7回臨時会 (令和7年10月)

〔人事案件〕

議長・副議長選挙結果

議長・

佐藤眞弘氏(7票)

佐藤八郎氏(2票)

横山秀人氏(1票)

副議長・

佐藤健太氏(7票)

横山秀人氏(2票)

渡邊 計氏(1票)

選挙後議場にて就任挨拶

佐藤眞弘議長

「飯館村は現在100億円を超える大規模な予算を執行しており、復興再生のために今後も維持・継続が必要です。将来を考えると、村民を増やす移住・定住と企業誘致は早急に取り組むべき重要な事業です。農地は大規模化が進み、今後は飼料米から食料米への転換

とブランド化が必要で、行政と議会は車の両輪。この両輪をしっかりと回していくことが大切だと考えます。」

佐藤健太副議長

「私たちの村の真の再生はいまだ道半ば。農・林・畜・商・工・石材業は暮らしそのものであり誇りの源でした。若い世代にも希望を持てるなりわいとして再生していかなければなりません。今こそ議会改革に本気で取り組むべきとき。開かれた議会、分かりやすい議会、行動する議会へ進化させてまいります。」

【専決】

専決処分の承認
熊よけ鈴購入 補正額484万4,000円
村内での熊の目撃が相次ぎ、熊よけの鈴を購入し全戸配布。9月11

日付で専決処分。
※全会一致で承認

第8回定例会 (令和7年12月)

〔補正予算〕

NHK放送 受信料(公用車)

質問 公用車のNHK放送受信料を平成23年から遡って支払うとのことだが、令和7年度はどれくらいの金額になるのか。

答弁 該当車両は20台。震災避難で平成29年4月まで減免。令和7年度は12万8,898円。今後はテレビ機能のない車両への交換を進めます。

質問 該当車両は20台。震災避難で平成29年4月まで減免。令和7年度は12万8,898円。今後はテレビ機能のない車両への交換を進めます。

質問 公用車のナビに

ついては受信料を取らないよう、要望の予定はあるか。

答弁 現在予定はありませんが、全国自治体共通の課題です。災害時の情報取得目的であ

り、今後の要望事項として検討してまいります。

広葉樹林再生 事業

質問 この作業の内容は。

答弁 広葉樹林の皆伐事業。地区は佐須・比曽・蔵平の3地区を予定。植林はせず、残った株から再生させてまいります。

希望の里学園 体育館空調設備設 置設計業務

質問 太陽光発電パネルの設置も設計に入っているのか。

答弁 再生可能エネルギーの検討も含まれております。併せて検討する予定です。

農業系汚染 廃棄物処理

質問 稲わらの量と放射線量は。

答弁 約30トン。詳細な線量は測っておりませんが、それほど高くないと想定します。屋根のある倉庫に保管しており、放射性物質の心配があるため今回の事業となりました。

生活応援 商品券事業

質問 1人5,000円で8,000円分の商品券が購入でき、最大7セット購入可能だが、家族が多いと使い切りが難しいとの声がある。期間延長は可能か。

答弁 購入8月まで、使用9月末までの予定です。今のところ延長予定はないですが、利用状況や換金率を確認し、低い場合は検討の余地はございます。



「いいたてほのぼの商品券」チラシ

◎補正予算

討論・賛成討論 ◎

横山秀人議員

プレミアム付商品券事業は、議会の提案が1つの実を結んだもの。村民の購入率・使用率を100%に近づける工夫が必要。期間設定や運用方法について柔軟な見直しを要望する。

議案審議・条例改正

村長等の給与改正

質問 この改正が村民や労働者に与える影響は。経営者への支援は。

答弁 民間と公務員の給与格差是正のための改正です。県の支援として、給与を上げた事業所に従業員1人当たり年間3万円程度の支援がある見込みです。村としては商品券事業等で生活応援をしています。

質問 村として仕事づくりや村内発注の工夫

など、働く場の支援を。

答弁 公共事業だけでなく、民間同士の経済活動も活発になるよう、商工事業者等と協議・調査しながら対策を考えてまいります。

議案審議・飯館村第7次総合振興計画

質問 第6次総合振興計画の評価書を公表する予定はあるか。

答弁 専門部会で評価内容を見ながら第7次計画を検討してまいります。今のところ公表は考えておりませんが、来年の決算審査までに検討してまいります。

質問 実施計画づくり

に村民参加と議会との意見交換の場を設ける予定はあるか。

答弁 実施計画は職員が策定します。住民懇談会等で意見を聞いてまいります。今後、議員の皆様と一緒に計画

内容を確認しながら進めてまいりたいと考えています。

質問 人口目標等の数値だけでなく、暮らしの実感に近い住民視点の指標を設定してはどうか。

答弁 人口や村内総生産という根幹の目標は定義いたしました。充足感などの感情に類するものは、いろいろな形で村民から話を聞く場を設けてまいりたい。

◎総合振興計画

討論・賛成討論 ◎

横山秀人議員

「美しく清らかな村 いたて」の実現に向けた羅針盤として高く評価し賛成。実行段階で以下4点を提案する。

- ①第6次計画の成果と課題の公表
- ②実施計画づくりにおいて、村民・議会との意見交換
- ③住民の実感に近い指標の設定

④事業評価結果の決算

・予算審査での共有

【議案審議・委員会設置】飯館村議会改革特別委員会の設置

平成30年9月設置の議会改革特別委員会の議論を継承し、議員の資質向上と議会の活性化に向けて議論を行う。

- 〔調査事項〕
- ①申し合わせ事項の再検証
 - ②議員定数
 - ③議員報酬
 - ④その他

※全会一致で可決



▶12月定例会の様子

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで、誰でも傍聴ができます。

村のホームページ・公式LINEで議会中継(生配信)をしているほか、過去に開催された本会議、予算・決算審査特別委員会の映像はYouTubeのウェブサイトで公開しています。

議会の様子はスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。専用アプリでQRコードを読み取り、ご視聴ください。(ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。)

議会中継配信(ライブ)はこちらから→
(中継配信サイトは、議会開会中のみ接続
できます。閉会中は接続できません。)



過去の映像配信はこちらから→
(YouTubeのウェブサイトでご覧
いただけます。)



ズバリ 村政

ここが ききたい!!

一般質問 Q&A

12月定例議会の一般質問には6議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全ての議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

- 佐藤八郎 議員** P8
- 15年を迎える原発事故について
 - 来年へ向けての要望について
 - 鳥獣対策と森林整備について
 - 原発事故被害者のための復興について
 - 原発事故を起こした加害者(国・東電)との交渉について
 - インフラ整備・環境の安全性について
 - 公共施設整備計画と維持管理の財源について

- 花井 茂 議員** P7
- 本村に於ける農業政策について
 - 本村の防災対策の強化について

- 渡邊 計 議員** P6
- 議案書について
 - 行政区ヒアリングについて
 - 来年度予算について
 - 道の駅(風の子広場他含む)とメモリアルホールについて

- 高橋孝雄 議員** P5
- 農業を再開された農家の支援について
 - 県管理河川の土砂撤去について
 - 国道399号線の早期改良について

- 横山秀人 議員** P10
- 介護サービス体制の再構築と村内デイサービス、ショートステイの再開について
 - 農業基盤整備事業の修繕対応、課題共有の進め方等について
 - 村民とともに考える読書推進の継続的な場づくりについて
 - 未登記村有地の解消と国・他自治体の動向を踏まえた早期対応について
 - 投票率向上と住民参加を広げるための投票のあり方について

- 飯畑秀夫 議員** P9
- 風力発電事業について
 - 物価高騰対策及び支援について
 - 消防団の現状について
 - 飯館村合併70周年記念事業について

※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく政策議論です。



高橋 孝雄 議員

動画視聴は
こちらから



質 水田の耕作を再開した用水路が再三の要望にもかかわ

らず、いまだに整備されてい
ないのはどのような理由か

答 機能診断の結果を踏まえ、営農に支
障となる水路について国と協議し、
用排水路整備を進めてまいります

質問 水田の耕作を再
開した用水路が再三の要

望にもかかわらず、いま
だに整備されていないの
はどのような理由か伺う。

答弁 現在国からの強
い指導に基づき全体の
工事を再確認するた
め、地元から整備要望
のあった既設の用排水
路について機能診断を

実施しています。

機能診断の内容とし
ては、事業者や職員によ
る現地調査のほか各行政
区の工事担当者や地権
者、耕作者へのヒアリン
グ等を実施しています。

また、土水路について
は機能診断が不要です
が、既製品の水路と併せ
て一体的に施工する計画

を検討しているところで
す。

今後につきましては、
機能診断の結果を踏ま
え、営農に支障となる
水路について国と協議し、
用排水路整備を進めて
まいります。

質問 震災原発事故か
ら長年がたち、農地周辺

の雑木も伸び放題のため、
伐採しなければ作物が
育たない。

農家の要望がある場
所は早急に対応が可能
か伺う。

答弁 村所有の公有林
については、予算の範囲
内で支障木伐採等の対
応をしています。

民有林については、多

面的機能支払交付金を
活用して集落の共同活
動として支障木を伐採で
きますので当該地区ごと
に事業を活用頂くよう
改めて多面的機能広域
協定運営委員会を通じ
て周知してまいります。

質問 暗渠排水工事に

ついて、除染工事でつぶ
れた所が多々あるが、農
家の要望がある場合、速
やかに工事を進めること
は可能か伺う。

答弁 村水田の暗渠排
水設備は国からの強い指
導により全体の工事を
再確認するため機能診
断を実施しています。

その結果を踏まえ地

域計画の目標地図上にお
いて担い手がいる、また
は担い手希望がある水田
について、暗渠排水整備
を進めてまいります。

質問 イノシシや猿よけ
の電牧セットが古くなっ
て効き目がなくなるので
新しい物を貸与してもら
えないか伺う。

答弁 鳥獣被害対策と
しての電気牧柵等につい
ては、福島県営農再開支
援事業により平成27年

度から営農再開を企図
する農家の皆さんを対象
に営農再開推進協議会
から無償にて貸与してい
ます。

一度導入した電気牧柵
等について老朽化した
バッテリー等の消耗品の
交換は事業上できません
が、村は令和7年度から
未来へつなぐ農業者支援
事業で、電気牧柵のバッ
テリーを含む消耗品等の
導入を事業対象としてい
るので、改めて農家の皆
様に周知してまいります。

県管理河川の土砂 撤去について

質問 県管理の河川で
も、原発事故前は地域住
民が大勢おり、少なくと
も年2回以上河川の草刈
り作業をしていたが、現
在は帰村者が少なくな
り草刈り作業もできず、
土砂が多量にたまるため、
水田に泥水が上らないよ
う早急に土砂の撤去が可
能か伺う。

答弁 二級河川につきま
しては、福島県相双建設
事務所が管理しており
今年度は新田川の関沢
地区の河道掘削工事が

実施予定です。

令和元年度以降の施
工状況としては新田川、
飯樋川及び比曽川につい
て進めてきたと聞いてい
ます。

11月の行政区ヒアリン
グで複数の行政区から土
砂撤去の要望を頂いてお
り、県に対して早期施工
を要望いたします。

国道399号線の 早期改良について

質問 国道399号線
の中に特にトラブルの多い
箇所があるが、早期に改
良できないものか伺う。

答弁 これまで早期改
良を求めて国及び県に要
望活動を行っています。

11月11日には国道
399号線改良整備促
進期成同盟会において、
8月6日及び12月4日
には、国道399号あぶく
まロマンチック街道沿線
自治体連絡協議会にお
いてそれぞれ国・県に要
望活動を行っております。



渡邊 計 議員

動画視聴は
こちらから



質 行政区ヒアリングでの要望について伺う

答 20行政区共通の村が所管する課題と、国県が関連する課題、民間業者に頼らざるを得ない課題・要望が多く挙げられました

質問 それぞれの内容について伺う。

答弁【村所管】

- ・高齢者・後継者問題
- ・行政区の組織体制の維持や地域コミュニティの在り方
- ・村道等の除草や維持補修に関する事
- ・遊休農地の活用や農地中間管理事業にお

ける担い手の確保・育成・獣害対策や農地保全

- ・農業用の用排水路や暗渠排水などの基盤整備事業

【国県関連】

- ・国道、県道の支障木問題やアクセス道路整備に関する事
- ・河川整備

・携帯電話不通話地域の解消

など課題・要望が多く挙げられております。

質問 高齢者、後継者問題の対応について伺う。

答弁 高齢者問題については、健康寿命の延伸、生きがい・やりがいを持つて生き続けられるよう福祉施策等、様々な角度で健康で生きていける村政を、後継者問題については、子や孫がもう一度村を見つめ直して、村で働きたい・暮らしたいと思えるような環境作りに入れたいと考えています。

質問 村民から行政区合併の声もあるが、行政区の組織体制の維持や地域コミュニティの在り方について伺う。

答弁 行政区という組織は村からお願いをしている行政的な仕事と地縁団体として伝統等

を引き継いでいる部分が混在しています。その中で、農政系の多面的事業は運営委員会、中山間地事業は協議会があり、行政区の枠を超えた議論ができる場がある中で、その仕組みを運用できるのではないかと、ただ地縁としての部分の冠婚葬祭とか伝統芸能に関しては一緒にとは言えないので、分けて今後議論が必要と考えるため、今のところ合併の考えはありません。

質問 農業従事者も高齢化している中で、担い手の確保、育成について伺う。

答弁 60代・70代の方々が村の農業を牽引して頂いているうちに、自分たちがパートナーを見つけて子育てでもでき、将来に向かって夢も希望も持てる稼げる農業として成り立つように取り組みたいと考

えております。

質問 来年度予算にどこまで反映されるのか。

答弁 各担当課において検討を進めており、村が所管する事項で、特に村民の安心安全の確保に欠かせないものを優先的に実施していきたいと考えております。

質問 安心安全の確保に欠かせないものとは具体的にどのようなものか伺う。

答弁 防犯・防火防災医療・介護・看護、高齢者の農業での収入、子供たちの安全を見つめ直し、予算に関しても考え直そうと、全課に指示を出しているところです。

来年度予算について

質問 来年度予算の重点について伺う。

答弁 次の世代へとつないでいける施策展開が必要であるという考

えの下、村民の福祉向上につながる施策を推進してまいります。

斎場メモリアルホールいいたてについて

質問 斎場メモリアルホールいいたてには、遺体を安置しながらの家族控室がなく、通夜当日まで他の斎場に待機しなければならなく使いたくても使えないとの声が村民から伺っております。改善の考えはあるのか伺う。

答弁 従業員の勤務体制に関わってくるので指定管理者の農協さんと状況確認させて頂きたいと考えております。





花井 茂 議員

動画視聴は
こちらから



質

「地域農業経営基盤強化促進計画」において村がもつとも重視している課題を伺う

答

先人が築きあげてきた貴重な財産・資源である多面的機能を有する農地を次世代につなぐことであります

本村に於ける農業政策について

答弁

この目的を達成するためにあらゆる課題の把握に努め、各種の事業を進めております。今後も多様な担い手への農地利用集積・集約化を推進しつつ、

地域内外の担い手の確保・育成を行うことで、営農面積の更なる拡大と農業振興を図り、稼げる農畜産業また持続可能な農業を構築してまいります。

質問

耕作放棄地対策についての基本方針を伺う。

答弁

本村がこれまで強力に取り組んできたのは、「農地の再生・集約」「担い手」の確保であり、次年度以降も「農地中間管理事業」を進め、農地を意欲高い担い手へ集約していくと共に各種圃場整備事業及び基盤整備事業等も活用しながら、耕作放棄地対策を進めてまいります。

質問

新規就農者を含む担い手確保のために強化していきたい支援策を伺う。

答弁

村では担い手確保を目的として「未来へつなぐ農業者支援事業」において、事業継承に要する行政書士・税理士等に依頼する書類等の作成経費などを支援しており、新規就農者や親元就農者に対しては、国の「新規就農者育成総合対策事業」等を活用した支援策を今後も展開してま

いります。

本村の防災対策の強化について

質問

地域防災計画の見直しについて、帰還人口の変動・高齢化・気象災害の激甚化などを踏まえた計画の見直し現況について伺う。

答弁

現在、県において水防法の一部改正に伴い一級河川・二級河川について、洪水浸水想定区域の見直しが進められており、村といましては、この結果を踏まえ、村のハザードマップならびに「地域防災計画」の見直しを行う予定としております。

質問

災害時の要配慮者に対する支援体制の整備状況について伺う。

答弁

災害の種類や規模によって災害対策の体制は変わるものの、これまでの地震の際には、村にお住まいの「高

齢者独居世帯」及び「高齢者のみ世帯」については、健康福祉課及び社会福祉協議会により電話で安否確認を進めた後に、連絡の取れない世帯については班編成による自宅訪問にて安否確認を実施しており、状況に応じては避難移動を想定し行なっております。また要配慮者には要介護状態の方、障害をお持ちの方が含まれております。

質問

災害情報伝達手段について、伝達体制の現状と課題について伺う。

答弁

現在の災害情報伝達手段については、登録制の村災害用メール配信と村公式LINEを活用しております。課題としては国・県が推奨する戸別受信機や野外拡声子局などの「独立防災システム」が全村民への災害情報伝達手段として適

切ではなく、依然として民間が提供するインターネットアプリケーション等に依存せざる得ないことです。今後についてはICT技術を活用した新たな防災システムを令和8年4月からの運用に向け構築中であります。この新しい防災システムでは、既存の村災害用メールと公式LINE等の配信のほか、導入予定の防災アプリ受信機を名行政区へ一台の配置を計画しています。既存の伝達手段では主に「文字」に限定されていましたが、音声や地図に写真とより直感的に認識しやすい伝達方法が確立されるものと考えております。





佐藤 八郎 議員

動画視聴は
こちらから



質 原発事故から15年目での 加害者(国・東電)の責任は

答 村民の立場で今後も要望して 参ります

質問 国の動き(6月閣議決定)復興基本方針は、長泥への自由な立ち入りを認める一方で、被ばく管理を個人の自己責任とする内容や、除去土壌の全国での再生利用促進、食品摂取基準の見直しなど盛り込んでいます。被害を受けた村、村民への影響・課題を伺う。

答 本年度見直しを行い、次の8年～12年

に向けての基本、各分野の取り組み、財源の方針、除染やインフラ整備を進める。

国の約束で、県外での再生利用促進、これまでの知見・データを参考にし、食品等について特別の区分の基準を設けて対応することを検討するとしています。

質問 原発事故(放射線被ばく)を体験した

村・村民にとって、国の「第7次エネルギー基本計画」をどうとらえ思考されているのか、村民代表としての所見を伺う。

答 村は「ゼロカーボンビレッジいいたて宣言」に基づき、住民福祉の向上に資する再生可能エネルギーに取り組むとし、村民の声を大切にしながら、より良い方向性を模索して参ります。

質問 村は「ゼロカーボンビレッジいいたて宣言」に基づき、住民福祉の向上に資する再生可能エネルギーに取り組むとし、村民の声を大切にしながら、より良い方向性を模索して参ります。

来年度に向けて村民の要望にどう応えるのか

質問 防災・減災・環境保全における水害対策、道路や河川などの土砂・草刈り・鳥獣被害が村民の要望となっていることから、村内事業者間の共同受注を推進し、避難解除前の6年間、村内全般が無管理地域となった実態です。道路や河川など維持管理費が大変なので、国・県への予算増額を要望すべきである。

答 必要な予算の確保について、国・県に引き続き要望し、草刈り、道路や河川の維持管理の財源確保に努めます。

質問 河川・やぶの刈り払い、草刈り、伐木などの除去と、耕作放棄地の実態を把握しての対策を示していただきたい。

答 関係各省庁や復興



道路草刈り作業の様子

質問 事業によって刈り払い、草刈り、伐木作業を進めています。地元との協議により、農地の保全を各事業の交付金により推進してまいります。

インフラ整備・環境の安全性の見通しは

質問 東北中央自動車道とのアクセス道路への要望活動の経過、内容と見通しを伺う。

答 関係各省庁や復興

興加速化本部と各関係機関への要望をし、相馬地方市町村会、県町村会においても、「霊山飯館ICから深谷地区へのアクセス」と強く要望しています。

質問 飯館の自然界のキノコ、山菜への被害が15年を迎えても14種の測定値が、平均10、488Bq/kgで、育成されている土壌の平均は53、698Bq/kgの実態であります。この現実と、受けた被害の捉え方と、加害者(国・東電)への要望を伺う。

答 森林は宅地から20mまで除染を実施しているが、それ以上は除染しない国の方針。山菜、キノコは食べない・採らない・売らない、出荷制限の継続。この実態を報告し、賠償と放射性物質対策を要望、要請をしています。

関係各省庁や復興

関係各省庁や復興

関係各省庁や復興



飯畑 秀夫 議員

動画視聴は
こちらから



質 風力発電事業について、住民から寄せられている懸念事項等はあるのか伺う

答 懸念事項は、周辺環境への影響や景観への配慮、低周波音による健康リスク、水源地への影響などであります

質問 風力発電設置場所の選定基準（住居距離、環境配慮等）についてどのようなルールがあるのか、その具体的な内容を伺う。

答 国が定める環境影響評価法や再生可能エネルギー特別措置法、景観法、自然環境保全法、環境基本法、騒音

規制法及び振動規制法など様々な法律により規定されております。

質問 いいたて美しい村づくり推進条例が制定され、審議会が設置されておりますが、審議会でのどのような意見が出ているのか伺う。

答 「仮称・福島飯館風力発電事業」につ

いては、令和6年9月27日開催の審議会にて、小宮地区及び蔵平地区への風況観測塔設置申請があった際に、その他の意見の中で、村が大切にしている里山と景観の関係をどう考えていくかが大切である。

地域間や村民間でいさかいが発生しないよう、十分に話し合いを重ねることが必要である。とのご意見をいただいております。

物価高騰対策及び支援について

質問 エネルギー価格高騰等の負担に対し、村独自の補助制度や融資制度を拡充する考えはあるのか伺う。

答 村としても村民の生活や村内事業者を支援すべく、独自の支援策を検討し、今般、本議会へプレミアム付きの生活応援商品券事業の予算を上程してお

ります。

この事業では、村民に加えて、村内の事業所に勤められている従業員やふるさと住民についても商品券をご購入いただくことができます。

消防団の現状について

質問 消防団員の確保における現状と対応を伺う。

答 飯館村消防団設置等に関する条例において、定員が216名となっており、現在の団員数は122名となっております。

団員の確保については震災以前より課題となっておりましたが、特に平成23年の全村避難以降は、大変厳しい状況となっております。

現在の対応といたしましては、現団員による直接の勧誘のほか、募集チラシの配付、移住・

定住支援センターほか村内公共施設への募集チラシ設置等を行っております。

なお、消防団を補完する体制として、女性消防隊、役場消防隊、企業消防隊を組織しているところとです。

今後も消防団活動の啓蒙と合わせて、団員確保について継続して取り組んでまいります。



▶1月4日消防出初式の様子

飯館村合併70周年記念事業について

質問 飯館村合併70周年を迎えるが、記念事業等のイベントを企画しているのか伺う。

答 本村は昭和31年9月に飯曾村・大館村の2村が合併し、飯館村として発足してから、来年で70周年を迎えることとなります。

現在、令和8年度予算編成に向けて70周年記念式典並びに記念事業を検討しております。具体的内容はこれからとなりますが、村民の皆様や村ゆかりの関係者の皆様にもお祝いいただけるよう、庁内で横断的に記念事業を展開してまいりたいと考えております。



横山 秀人 議員

動画視聴は
こちらから



質 村内デイサービス・ショートステイの再開と、国・東京電力への支援要請を

答 介護人材不足により村内再開に至っていない。現段階では東京電力への財政支援要請の考えはありません

質問 村内にデイサービス・ショートステイの拠点がなく、村外事業所に依存している。介護を担うご家族から「村内でサービスを再開してほしい」との声が届いている。

答弁 介護人材不足により村内再開に至っておりません。

村外事業所によるサービス提供と、高齢者サポート拠点「つながっぺ」でデイサービスを補完しております。

国へ財源確保を要望中。現段階では東京電力への財政支援要請の考えはありません。

介護ニーズ調査の結果を踏まえ、サービス充実を図ります。

質問 3月定例会で「村内事業者によるサービス実施に向け準備を進めている」との答弁があったが、進捗状況は？

答弁 人材確保が課題で前進できておりません。

復興財源が確保できている間にサービス維持に努め、再開に向けた検討を継続いたします。

農業基盤整備の修繕対応、役割分担を明確に！

質問 用排水路・暗渠に不都合があった際、村・施工業者・農家の役割分担と費用負担は、修繕の保証期間の明確化を。

答弁 日常的維持管理は多面的機能支払交付

金等を活用し受益者が対応します。

災害は国・県事業で復旧。工事による瑕疵（施工の不具合等）は

村が対応、それ以外は使用者が管理となります。

村民とともに考える読書推進の場づくりを！

質問 読書推進意見交換会の継続は。こども

議会での「図書館設置」提案への対応は。公共施設への本の配置を。

答弁 意見交換会は成果がありました（参加者5名と少数が課題）。

図書館新設は費用面で困難、交流センター図書コーナーの充実を図ります。

第7次総合振興計画で「読書環境の充実」を掲げております。土日開館は検討課題です。

▶図書コーナー



未登記村有地（約1,100筆）の計画的解消を！

質問 未登記村有地の財政的・事務的リスクへの危機感。他自治

体の対策を参考に、計画的解消と庁内横断的な体制整備を。

答弁 令和5年度から毎年1,000万円の予算を計上し計画的に解消中です（R6年度は1,470万円）。

福島県公共嘱託登記土地家屋調査士協会と連携。

相続未了案件が多く、専門団体と連携して解消に努めます。

投票率向上と住民参加を広げる投票の在り方を！

質問 村議選投票率58.01%（前回比8.01%低下）の要因分析は。投票環境の改善と、

村民とともに考える場の設置を。

答弁 避難生活長期化で村外に生活拠点が定着したことが要因です。投票期間8日間への

延長、福島市・南相馬市への投票所設置等を継続しています。

村づくりへの村民参加と選挙権行使は別と考えます。（選挙管理委員会答弁）

—— 村議選投票率 ——

令和 7年	58.01%
令和 3年	66.02%
平成29年	63.23%
平成25年	73.03%
平成21年	90.09%

審議結果

令和7年第7回（10月）臨時会では契約案件1件、人事案件1件、その他案件4件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

議題は下記のとおりです。

- 議案第73号 深谷地区産業団地整備農道大森線排水管敷設工事請負契約について
相手方 濱田建設工業株式会社 契約金額 7,700万円
- 議案第74号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
佐藤 勝見さん(前田行政区)に同意
- 承認第3号 専決処分の承認について
熊よけの鈴購入 全戸配布 予算484万4,000円(林業総務費)
- 発議第1号 飯舘村議会広報編集特別委員会の設置について
- 発議第2号 高速自動車道整備促進特別委員会の設置について
- 発議第3号 東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興対策特別委員会の設置について

令和7年第8回（12月）定例会では予算案件6件、条例案件4件、契約案件5件、その他案件2件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 発議第4号 飯舘村議会改革特別委員会の設置について
- 議案第75号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)
生活応援商品券事業、広葉樹林再生事業、農業系の廃棄物処理等
- 議案第76号 令和7年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第77号 令和7年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第78号 令和7年度飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第79号 令和7年度飯舘村簡易水道事業会計補正予算(第3号)
- 議案第80号 令和7年度飯舘村農業集落排水事業会計補正予算(第1号)
- 議案第81号 飯舘村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 議案第82号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第83号 飯舘村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第84号 農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事(洞の入ため池)請負契約の変更について
- 議案第85号 営農再開支援再開水利施設等保全事業(飯舘西部その1)ため池放射性物質対策及び補修工事(大橋ため池)請負契約の変更について
- 議案第86号 営農再開支援再開水利施設等保全事業(飯舘東部その1)ため池放射性物質対策及び補修工事(大吹ため池)請負契約の変更について
- 議案第87号 農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事(股田川ため池)請負契約の変更について
- 議案第88号 深谷地区産業団地整備農道大森線配水管布設工事請負契約の変更について
- 議案第89号 飯舘村第7次総合振興計画につき議決を求めることについて
- 議案第90号 村長等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例
県の人事委員会の勧告による

議会の主な動き(10月~12月)

《10月》

3日

- ・第7回臨時会本会議
- ・各常任委員会
- ・議会運営委員会
- ・全員協議会

- ・広報編集特別委員会
- ・高速自動車道整備促進特別委員会
- ・復興対策特別委員会

9日

- ・相馬地方市町村議会議員親善パークゴルフ大会

20日

- ・町村議会議員研修会(郡山市)

21日

- ・相馬地方市町村議会議員・幹部職員合同研修会

《11月》

11日

- ・野馬追の里風力発電所見学会

12日

- ・町村議会議長全国大会(東京)

27日

- ・議会運営委員会

28日

- ・新人議員研修(福島市)

《12月》

5日

- ・全員協議会
- ・第8回定例会開会
- ・各常任委員会

9日

- ・第8回定例会(一般質問)

10日

- ・第8回定例会(一般質問)

12日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・第8回定例会議案審議・閉会
- ・広報編集特別委員会

常任委員会の活動

の活動

12月5日に総務文教・産業厚生各常任委員会では閉会中の所管事務調査の申し出について協議しました。

総務文教常任委員会

●調査事項

- いいいて希望の里学園における
- ・特別学級支援について
- ・学校給食(調理業務委託)について
- までの里こども園における
- ・給食調理について

●調査期間

令和8年2月予定

産業厚生常任委員会

●調査事項

- 飯館村社会福祉協議会・飯館村サポートセンター「つながっぺ」・特別擁護老人ホーム「いいいてホ

ーム」について。
○村内の牧野利用農業共同組合について。

●調査期間

令和8年2月予定

活動の記録写真



▶町村議会議員研修会



▶野馬追の里風力発電所見学会

相馬地方市町村議会議員親善パークゴルフ大会



▶花井茂議員(右)個人の部で優勝

編集後記

今号は、新しい編集委員による初めての「議会だより」となります。村民の皆さまに議会が何が話し合われ、どのような思いで議論が進められているのか、できるだけ分かりやすくお伝えしたい。そんな思いで編集に取り組みました。

まだ手探りの部分もありますが、より読みやすく、親しみやすい「議会だより」を目指して参ります。今後ともご愛読いただき、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

発行責任者

議長 佐藤 眞弘

編集

広報編集特別委員会

委員長 佐藤 健太
副委員長 飯畑 秀夫
委員 花井 茂
横山 秀人
佐藤 勝見